

ようへいに聞こう! Q&A



(50代男性)

Q ようへいさんが政治家になろうと思ったきっかけは?



父・岸本建男は「七つの条件」を国に提示して新基地を受け入れる苦渋の選択をしました。

しかし、父が亡くなった後には「七つの条件」は、無かったことのように、国は沖縄県民や名護市民の民意を無視して辺野古新基地建設を強引に進めました。

私は「このままではいけない!」と思い、このことを市民・県民にしっかり伝え、市民と一緒に行動していこうと決心しました。

A ようへい



(30代女性)

Q ようへいさんが市長になったら保育料は有料になるんですか?

A ようへい



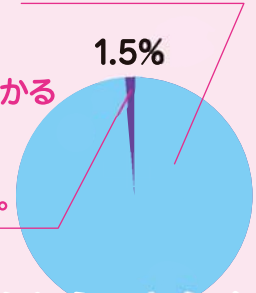
いいえ、**無料のままです。**

私は本来、教育費は国や県、市が保障するものだと考えています。

子どもたちの保育料・給食費・医療費が無料なのは当然のことです。これからもしっかりとその仕組みを続けていきます。さらに子育て支援として「子ども太陽基金」を創設して、より充実した環境をつくれます。

名護市の一般会計予算
約**430億円**

現在、保育料・給食費・子ども医療費無料にかかる予算は約**6.7億円**
全体の約**1.5%**です。



市民の税負担を増やすことなく無料化は可能です。



(20代男性)

Q 現在の名護市長と、ようへいさんの一番の違いはなんですか?

A ようへい



私は、辺野古新基地建設を認めない立場を表明していますが、一方、現市長は、4年前から「国と県の裁判を見守る」の一点ばりです。それでは名護市長として無責任です。私は「名護のことは、名護市民が決めよう」と言い続けます。

自分の意見を言わない市長では、名護市の安全なくらしゃ自然環境を守れません。私は市民の生命・財産をしっかり守ります。

コロナ禍で困窮した市民を迅速に支援します!